

## 三十二年振りの再会

園生 井上 敏男

四月二十八日の藤祭りは幸い晴天に恵まれ、地域の人々の協力を得て、盛大に行われた。藤棚の下では、お茶クラブのお手前が披露され、お客様に接待され、おでんや綿菓子の模擬店も出て、大いに賑わった。



午後二時からホールに於いて町の有志の方たちによるアトラクションが行われ、カラオケや民謡

伊予万才に観衆を沸かせた。

突然私の車椅子の前に紳士が立った。私は一瞬「だれかな?」と思った。

「僕、誰かわかる?」と聞かれた。その声で私は「トモアリさんでしょう」

と叫んだ。「懐かしいなあ」の言葉しか出なかった。「この前来た時は海水浴で会えなくて残念だったけど今度は会えたな。元気で良かった。頑張ってくれよ。」と言葉を残して帰って行った。

思いがけない藤まつりであった。

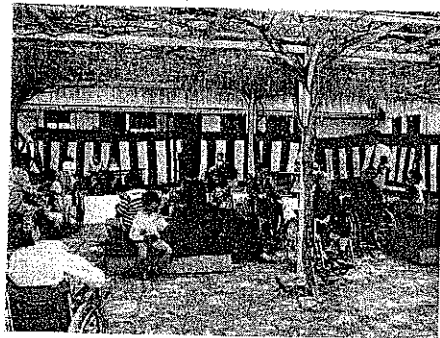
## ホームの皆様へ

なかよしクラブ 菅野 京子

四季の花々の中で、藤は、桜に続く花です。藤のうす紫は、まさに初夏の色彩です。ホームの皆様、先日は「藤まつり」に 소개いただきありがとうございます。お茶の香りと、熊蜂の羽音のする藤棚の下で、さわやかなひとときをすごさせていただきました。

ボランティアとは、ただただ名ばかり、多少こなせる綿菓子と、たこやきの腕を見込まれてのことと、いつも、何の遠慮もなく出かけて行きます。そして、いつも寮母さん方の足手まといになるのが、私達のパートナーなのです。その上、「お世話になりました。」などと「言われると、そっくりその言葉を、お返ししたくなる程です。」

それでもやっぱり、夏はたこやき。では皆様、今度は夏祭りです。



## ゴールデン・ウィーク至来! いざ、ふじ祭りへ

ペンネーム・卑弥子

友達に誘われて三恵ホームのふじ祭りに行って来ました。どんな祭りなのか、どんな人達で賑わうのか楽しみにしていたのです。天気までもが、私達を心良く迎えてくれ、藤の下での茶席が印象的で、趣深いものでした。

また、ホールでの演芸、特に園生の方のカラオケは、このような祭りの場が発表の場となっている様子で、日頃の練習が目に見えるようでした。

そして、ボランティアの方、ご家族の姿が見られ、その方達との絆を大切にしておられる様子で、今日一日の有意義さを感じました。

特に嬉しかった事は、ふじ祭りという行事にあやかっ、居室の方を見せて頂いた事です。何の抵抗もなく、御自分の生活の一部を話された園生の方、廊下に飾られた工芸品等、とても思い出深いものになりました。今後の祭りの企画に期待しながらも、私達のような見知らぬ友にも、どんどん声をかけて下さい。また、会える日を楽しみにしています。